

マリア ノ リカルド カエ アルゼンチン出身の元カトリック信者

:

明:アラビア の学 によって、いかに彼がイスラ ムに かれたかについて。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: マリア ノ リカルド カエ

日 07 Jul 2014

集日 07 Jul 2014



私の名はマリア ノ リカルド カエです。私はアルゼンチンのブエノスアイレス（首都ではなく州の方）出身です。私はイスラ ムの改宗前、ロ マカトリック教徒でした。私は洗礼され、教会 になる 式も受けました。

私は幼少の から、母と祖母を通して宗教に しんできました。

私は7 のときからバイブルを んでいました。子供用のスペイン バイブルから み始め、ダビデ、ノア、ヨブを英雄としていました。

11 の 、私は 祈りを捧げていました。 に、私は神に しかけつつ しました。私は青年期、21 まで麻 に溺れました。私は常に真 を探し求めていました。

24 で私はより多く祈りを捧げるようになり、父なる神に一回、アヴェ マリアに一回と
いった具合に、一日に24回、シャワ の冷たい水（温かい水がなかったから）の下でひ
ざまずいて祈ったものです。これを私は一年 を通して行いました。それは何の役にも
立ちませんでした、神こそが真 をご存知です。

去年の初め、私はマヤ文明の古写本、アトランティス、クフ王のピラミッド等と同 に
、アラビア の歌 を理解するためにアラビア を勉 していました。

私はインタ ネットで つけた本を使い、アラビア を独学し始めました。2 、何とか せるよ
うになったので 学校で を受けると、レベル2から始めることができ、4ヶ月分の を得す
ることが出来ました。その 私は大学に入りましたが、2クラスしか取りませんでした。
ただ、私はメ ルで とコンタクトを取り けました。

私の母がブックフェアで、イスラ ムに する2 の本を 料で受け取ってきました。それらを
むと、クルア ンで言及されている科学の が非常に 味深く思えました。そしてムハンマ
ドについて むと、自身の模 であると感じました。

それである日、私は と酒を ちました。私は大酒 みではなかったものの、アルコールに わ
ること全てを完全に断ち切ったのです。それは自分自身による 断で、シャハ ダ（イス
ラ ム入信の信仰 言）をする日までは、私は自分がムスリムになることなど思いもしま
せませんでした。

私はクルア ン写本を 入することによってアラビア を み、早く学びたいと思いましたが
、私の はパレルモ（ブエノスアイレス）のモスクで 料で入手することが出来ると教え
てくれました。

その日の内にクルア ン写本を うためにモスクへ行きましたが、なぜモスクのような素
晴らしい 所にもいないのかと 愕しました。アルゼンチンはイスラ ム国家ではないです
が、そのモスクは南米最大のモスクなのです。

その日、 にイスラ ム同胞となるイブラ ヒ ムがインタ ネットでダウンロードすることの出来るサイトのリンクをくれ、 日それをプリントしました。小一 で私はクルア ン写本を手に入れることが出来ました。

私はインタ ネットでダウンロードしたクルア ンを みました。それはアラビア とスペインのもので、アラビア 本文の理解を容易にさせました。

幼少以来、私はバイブル全体を二回 み、インドのギ タ を同じく二回、そして今はクルア ンをアラビア で むことが出来るようになりました。クルア ンを み始めると私の魂は目 め、まずアラビア を学びたいと うようになりました。私は当初から、辞 を使いつつアラビア で んでいました

アルハムドゥリッラ 、クルア ンの ることは、バイブルに欠如していたことだということをして私は することが出来ました。クルア ンの ることの全ては、私が探し求めていた真であることが分かったのです。

も私にイスラ ムについて教えてくれた ではありません。真 を探求していたことで神は私をそこにお き下さったのです。私が神に抱く感 の 持ちは非常に大きなものです。クルア ンを めば む程、クルア ンはバイブルのような神の 典であることが理解出来ました。

それ以来、私はモスクへと足を ぶようになり、2 の7月14日にはシャハ ダを言いました。私は、ムハンマドがイエスやモ ゼのような神の使徒であることを 信じたからです。

それから、私はイスラ ムについての を始め、モスクでアラビア を勉 し始めました。私はアキ ダ（信仰 条）とタウヒ ド（一神 ）について み、スペイン で一 にクルア ンを みえました。

私がシャハ ダをする2 前、勉 のためにモスクを れたとき、そこが安 に ちた 所だと 感じました。私はまだムスリムではなかったものの、神の御前で祈るということはどういう感じがするのかを かめるため、ムスリムたちと共に礼 をしました。神にとっては意 こ

それが重要であることを知っていました。

2 には、サラ（礼）の仕方を えました。そこで いていた特 々な人々とも 切になりました。

私はアラビア を すようになり、神がより早くそれを学ばせてくれるよう っています。
私はサウジアラビア出身のシャイフ ナ スィルの前でシャハ ダをしました。彼はシャイフ
フ ハ ミドの交代でやって来た人物です。

モスクに通い ける内に、ラマダ ンがやって来ました。それはとても美しい でした。素
晴らしい人々とも出会い、2007年は私にとっての最高の年でした。私はシャハ ダをし
て以来、サラ をし なかったことはありません。

私にとって困 だったのは男女 に わることでした。当 私にはガ ルフレンドがいましたが
、どちらにせよ彼女との を持 することは しかだったので、彼女とは れ、神に良い妻を授
けてくれるよう祈りました。

それが神に祈った最初のことだったと えています。そしてシャハ ダをした同じ に、私
は一人の女性と知り合ったのです。彼女はボ イフレンドを持ったことが一度もなかつ
ただけでなく、美しい女性でした。私は神の 大さを思い知りました。私は常に く神を
信じていましたが、それ以来、一切の疑念は吹き んでしまいました。

私は に自分がムスリムであることを告げました。母は多少怖れていましたが、私は へ
の孝行を始めました。私は兄弟たちから多少からかわれただけで、彼らは他には何も
言いませんでしたが、私は彼らよりも人をからかうタイプなので、それは ではありません
でした。

仕事をつ け、上司に礼 の 可を求めると、 なく了承されました。アルハムドゥリッラ。
私はイスラ ムに基づいて、笑 ていることに努めるようになり、 人 にも注意を うようにな
ったため、人生がより良いものとなりました。

私は 学し、より良い仕事をつ けたため、いつも に追われていましたが、可能な限りモ
スクに行き けることを心がけました。私はサヒ フ ムスリムなどの本を常に携 していま

す。

友人たちの反はおかしなものでした。アルハムドゥリッラ、私は常に良き友人たちにまれてきました。私はいつも人から何かを学ぶことが好きだからです。私の友たちは実践的なカトリック信者です。彼らは日曜日にミサに行きますが、私がムスリムになってからは欠かさず行くようになりました。

私は彼らがいてきたの全てに答えました。今日に至るまで、彼らはを止めません。私の友とそのブラジル出身の妻はキリスト再派信者です。他の友人もい信仰を持っています。彼とその妻はカトリック信者です。

私は神に、私がかれの宗教における宣教役となり、私のと友人たちをいてくれるよう祈っています。ただ、もしも彼らがかれずとも、それは命であることを受け入れ、悲しんだりはしません。

さらに、私の弟（私は男です）は不可知者です。彼は私を人だと思いんでいます。私は家族のために祈ります。母はハムキの料理を作ってくれます。ただ、私は家族のすることの一部に反していることは避けがたい事です。

私は神をしています。神へのは、家族へのにるものです。私は言者ムハンマドをしています。そして私が真の信仰者であるためには、この地球上のよりも彼をさなければなりません。そして私はこの宗教をしています。私に出来る最善のことは、神をえることだけだからです。

、私は考え得る全てのものを手にしました。私は最高の仕事を手に入れ、学し、神が私の人生に授けてくれた女性との婚のをしているのですから。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1679>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。